

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和元年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。

□ 事業内容

木材を活用した来庁者用備品等の整備事業

- 親子が多く訪れる保健福祉センター等施設において、子ども用机・椅子、知育玩具等の木製品を整備した。

【事業費】1,098千円（うち譲与税1,098千円）

- 【実績】
- ・幼児用机10個・幼児用椅子15個、
 - ・絵本棚7個、収納ボックス10個
 - ・木製おもちゃ（乗用おもちゃ4個、がらがら7個、木製ミニカー13個、積み木5個、パズル5個、キッチンテーブル4個）



□ 事業スキーム

一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- 親子が多く訪れる空間に木材の温かみを感じられ、かつ乳幼児が使用しても問題のない大きさや塗料等の安全面にも留意した備品を選定した。
- 乳幼児健診や発達相談などで施設を訪れる子どもや保護者等が自由に木製品に触れ、木の良さを実感する場を増やすことで、自然や環境への興味・関心を高め、国産木材利用の普及啓発を行った。
- 令和2年度に整備終了予定であり、整備終了後は、森林整備・国産木材利用の普及啓発・促進・需要拡大に寄与するため、掲示板等で当該施設利用者に周知する。

□ 基礎データ

①令和元年度譲与額	109,611千円
②私有林人工林面積（※1）	0.00ha
③林野率（※2）	0.00%
④人口（※3）	2,691,185人
⑤林業就業者数（※4）	160人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より